

蓄電池設置 など

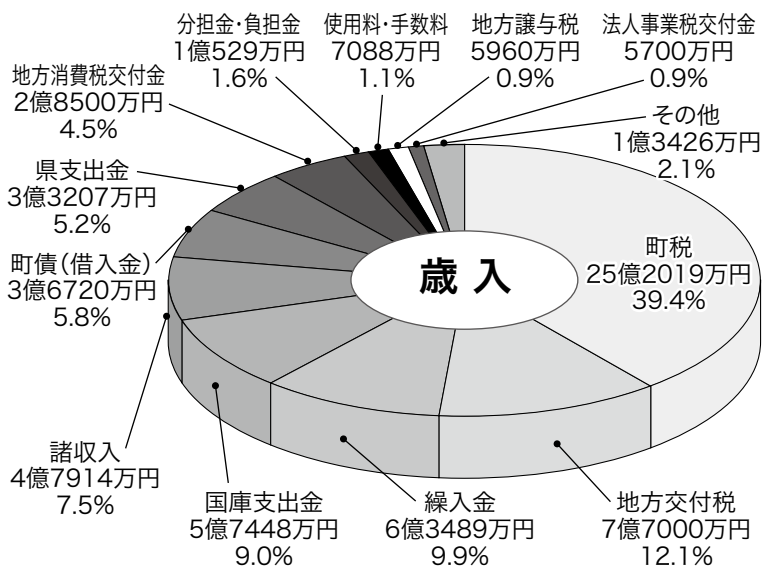
3月定例会 予算議会

106億6798万円

令和2年第1回定例会は3月2日に開会され、一般質問には13名が登壇した。令和2年度の一般会計予算をはじめ各特別会計予算、条例案及び令和元年度補正予算等を原案のとおり可決したほか、意見書1件の提出を可決し、19日に閉会した。

歳入

町税25億円余(対前年度6.9%減)



一般会計
63億9000万円
対前年度12.5%増

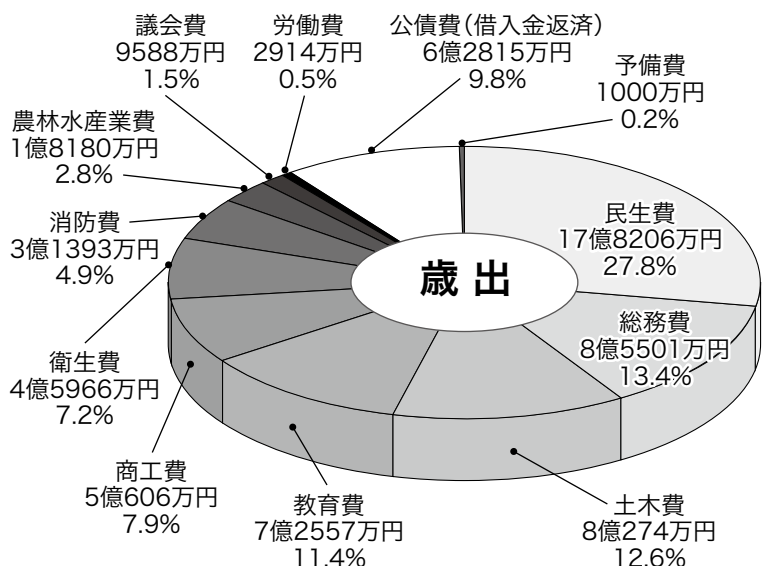
歳入

個人町民税は、前年度増を見込む一方、法人町民税は、税率改正の影響や町内企業の動向を精査する中で、41・2%の減額を見込み、町税全体では約1億8700万円、6・9%の減とした。

また、村上小蓄電池設置事業等により、国庫支出金は1億9400万円

歳出

新たな教育・文化事業へ



歳出

の増を、分担金及び負担金は幼児教育・保育無償化の導入に伴い保育負担金の減額、ふるさと納税は、実績を踏まえ増額を見込んでいる。

投資的経費は、前年度が4億8300万円の大増となつている。道路・橋骨格予算だったことから、総合戦略など数多くの計画策定費用が計上された。

梁修繕など継続的な基盤整備事業に加え、文化センター1体育館の耐震改修に向けた設計業務、災害時にも電力が供給できる村上小への蓄電池設置、中学校へのタブレット端末増設、骨髄バンクドナー助成、また、各種健診、予防接種などの継続事業のほか、総合計画、国土利用計画、

令和2年度予算 村上小学校に



令和2年度 坂城小学校入学式

予算総額

特別会計
42億7798万円
 対前年度4.6%増

会計名	予算総額	対前年度増減率
国民健康保険	14億3930万円	△6.0%
下水道事業	11億3186万円	31.7%
介護保険	14億7709万円	△0.4%
後期高齢者医療	2億2973万円	6.1%

国民健康保険

平成30年度より制度運営が都道府県単位に変わり、財政主体も県へ移行された。それに伴い、保険税を主な原資として、県へ納める事業費納付金と、県からの交付金を原資に支払う医療費に対する保険給付費等を計上し、保健事業を推進す

下水道事業

る。前年度対比6・0%、9242万円の減。

流域下水道及び町公共下水道の整備・管理を行う。本年度の完成を目的に、引き続き南条地区

の面的な整備を行う。前年度対比31・7%、2億7224万円の増。

介護保険

介護を必要とする高齢者が、安心して介護サ

後期高齢者医療

ビスが利用できるような事業を実施する。高齢者の自立を支援し、介護予防・重症化防止のほか、地域の支えあい体制づくりを進める事業を実施する。前年度対比0・4%、643万円の減。

本制度は長野県後期高齢者医療広域連合が運営しているが、町は保険料の徴収と窓口業務を行っている。前年度対比6・1%、1329万円の増。



待ちに待った再開
 (鼠橋運動公園マレットゴルフ場)